



岡山市教委 かわら版

津山市教育委員会だより 平成26年3月 第15号



教育委員の活動報告 岡山市へ行政視察

平成26年2月20日(木)、
「持続可能な開発のための教育(ESD)」について、行政視察のため岡山市(教育委員会)を訪問しました。

岡山市は2005年から2014年の10年間、ESDに積極的に取り組んできており、今年10月には「ESDに関するユネスコ世界会議」が岡山市で開催されるなど世界からも注目されています。

公民館を拠点としたESDやESDの推進拠点としてのユネスコスクールの活動、企業における取り組み、市民団体における取り組み等についてお話を伺いました。

次にユネスコスクールとしての活動(ESD)の実際の現場、岡山市立第三藤田小学校の公開授業を見学しました。5・6年生が縦割りのグループになって、地域の様々な課題について自分のこととしてとらえ、みんなで意見を出し合いながら学ぶ姿を見ました。解決方法を話し合い、自分にとってこれまでどのような経験から判断したものなのか「思考」しながら、語り合える力、的確に批評

できる力、建設的に主張できる力へと発展する道筋を見学し、持続可能な社会を創生するための人材育成の視点を研修することができました。



活発な意見が交わされる授業を参観

岡山市立福田公民館では、「子どもの意欲を育てる公民館活動」公民館と学校園が連携してすすめる学校外教育活動」の取り組みについてお話を伺いました。

今回の視察は、この地球で、みんなが幸せでいられるように未来に残したいものは何かを考える一日となりました。

* ESD = Education for Sustainable Development (持続可能な開発のための教育)とは、「持続可能な社会づくり」のための学びのことです。私たちのくらしの中にある

環境、平和、人権、国際理解、多文化共生、防災など様々な課題を自分の課題としてとらえて、みんなで意見を出し合いながら考えたり学んだりしていくこと。そして、ただ考えるだけではなく、身近なところから課題の解決につながる行動をおこし、みんなで新たな価値観や持続可能な社会を創っていくことをめざす学習や活動のことを言います。

* ESDの推進は、国の教育振興基本計画(第2期計画期間は平成25(29年度)において平成25年6月14日に閣議決定されています。

参考資料・文献
* 岡山ESD推進協議会『岡山ESDプロジェクト』

* 国立教育政策研究所(2012)『学校における持続可能な発展のための教育(ESD)に関する研究「最終報告書」』



学校でのESDの取組について研修

平成25年度
幼・小・中学校卒業式
卒業おめでとうございます。

卒業式・卒業生数

幼稚園

卒業式 3月18日 火
園児数 一八五名

小学校

卒業式 3月20日 木
児童数 一〇七〇名

ただし、阿波小学校の卒業式は3月22日 土

中学校

卒業式 3月15日 土
生徒数 一〇五三名



ホームページに公開します
**「平成25年度 小・中学校
 学校評価の結果」**

津山市では、子どもたちがより良い教育を受けられるよう、学校の教育活動を検証・改善するための学校評価を毎年行っています。

今年度は、学校の取組や状況を公表することにより、家庭や地域の皆さんに学校のことを少しでも知っていただきたいと考え、学校評価結果を津山市のホームページに掲載することとしました。

津山市の子どもたちの健全やかな成長のためにも、学校と家庭・地域の連携と協力をお願いいたします。

学校評価結果は、3月25日（火）から順次ホームページに掲載いたします。
 津山市のホームページの検索窓に「学校評価」と入力してご覧ください。

学校評価を行い、より良い学校づくりに役立てます。



**乳幼児のアレルギー
 対応に関する研修会**

アレルギー疾患を持つ子どもが増加している現状を受けて、保育所（園）・幼稚園・関係機関職員110名の参加により研修会を開催しました。

津山市医師会 松尾直光会長に「乳幼児のアレルギー対応について」の講演、エビベンの演習指導をしていただきました。



津山市医師会 松尾直光会長による講演

また、「保育所におけるアレルギー対応ガイドライン」や、平成26年度から使用する食物アレルギーに関する「保育所給食 食物除去意見書」や「保育所生活管理指導表」の共通理解を深めることができました。

**林田小学校給食試食会
 ～全国学校給食週間～**

毎年1月24日から30日までの1週間は、全国学校給食週間として、学校給食への理解を深めるための取組を行っています。

その一環として、1月28日（火）に林田小学校において給食試食会を実施しました。



試食会の準備風景

当日は、大下副市長、居原田教育委員長、田村教育

長をはじめ教育委員会の職員が児童と一緒に楽しく給食を食べました。

くじらのケチャップがらめ、はりはりづけ、すいとんなど昔懐かしい献立でしたが、子どもたちも笑顔で給食をほおぼっていました。



昔の給食献立

そして、いよいよ、平成26年度の2学期から、市内草加部地区内に建設中の新センターと、改修工事を終えたばかりの戸島学校食育センターから、市内すべての小中学校に学校給食が提供されます。

安全・安心でおいしい給食の提供に努めてまいりますので、関係者皆様の更なるご理解とご協力をお願いいたします。

**絵本作家 宮西達也氏
 読み聞かせ＆お話し会**

「おとうさんはウルトラマン」「おまえうまそうだな」の作者 宮西達也氏による「読み聞かせ＆お話し会」を1月11日（土）グリーンヒルズ津山リージョンセンターで開催しました。

参加した約400人の親子連れを前に、「ユーモアたっぷり」「はらぺこへびくん」「やーにやーこ」などの読み聞かせを行い、会場は子どもたちの笑い声に包まれました。



子どもたちの笑い声に包まれた会場

また、親子のふれあいや読書の大切さについても情熱いっぱいに語られ、「子どもだけでなく大人も一緒に絵本を読んで、優しい気持ち

ちで子育てをしてほしい」と締めくくりました。

参加者からは、「楽しい内容の中にも心にジーンとひびくものがあった」「読み聞かせのコツがわかった」「などの感想が聞かれ、絵本とふれあう楽しいひとときを過ごすことができました。



津山市民講座

「縄文土器のはなし」

久米地区在住の縄文土器研究者で、くらしき作陽大 学非常勤講師の可児通宏氏をお招きし、2月15日(土)に久米公民館で、縄文土器作りの手法や縄文の多様性について学ぶ市民講座を開催しました。

参加者は縄文土器の起源や大陸との交流についての興味深い背景に加え、造詣が深い製作工程や木目状や貝殻による押型文といった様々な文様のパターンについて熱心に学びました。

また、講演後は、講師の作成した精巧な縄文土器のレプリカに触れながら、縄文人の知恵と技術について確認し、当時の情景に思いをはせました。



縄文土器のレプリカに触れてみました

史跡津山城跡 冠木門跡の発掘調査

文化課では、史跡津山城跡保存整備事業の一環とし

て、平成26年1月上旬から冠木門跡の発掘調査を実施しました。

冠木門は、津山城の三の丸にいたる通路に位置する門で、北にある三の丸の石垣と南の高石垣との間に築かれていました。絵図や文献にも冠木門についての記載はありますが、規模や構造についての詳細は判明していませんでした。

発掘調査の結果、築城当時の地面と考えられる面が発見されました。

また、門の一部に使用されたと考えられる石や、門の構造を知る手がかりとなる石積みなどの遺構なども見つかりました。

さらに、門の築造にあたり、大規模な造成工事を行っていることも判明しました。

2月22日(土)には現地説明会を開催し、50名余りの方々に調査成果を見ていただくことができました。

今回の調査は、冠木門の北半部の調査であり、平成26年度に残る南半部の調査を実施し、引き続き門の詳細な構造について検討を行う予定です。



冠木門跡での現地説明会

第32回津山市文化財調査報告会

平成26年3月1日(土)にグリーンヒルズ津山リージョンセンターペンタホールにて第32回津山市文化財調査報告会を開催しました。第1部では、津山郷土博物館の学芸員2名により、「美作の幕領に関する資料について」「羽柴秀吉の禁制状と黒田官兵衛」と題して研究報告がありました。日頃の研究成果の発表に参加者からの質問等も交えながら話がありました。

第2部では、勝北陶芸の里工房指導員の花岡勉氏から、「陶棺を復元して」と題して、昨年、美作国建國1300年記念事業の一つとして行われた陶棺復元プロジェクトについて講演がありました。

陶棺の復元には、津山市新野山形所在の水原古墳出土陶棺をモデルとして復元されたことや、陶棺の製作過程や復元により、古代人の製作技術の高さに改めて感心させられたことなどの話がありました。

報告会に参加した約100名の市民は、古代に夢をはせながら熱心に報告を聴きました。



学芸員による文化財調査の報告

**岡山県津山陸上競技場
第2種公認更新について**

岡山県津山陸上競技場（津山市志戸部）では、第2種公認更新に向け改修工事を行っています。

この競技場は、平成6年4月に津山市が指定管理者となり、5年に1度、日本陸上競技連盟による第2種公認認定を受けており、今回は4回目の公認を目指します。



岡山県津山陸上競技場

改修工事は平成25年11月に開始し、平成26年3月中旬の完了予定です。
改修内容は、全天候舗装のトラック（1周400メートル、8レーン）のうち、平成20年に改修したホームストレート（100メートル）を

除く30メートル区間及び100メートルのスタート地点で摩耗したウレタン部分の張り替え等を行い、備品では、日本陸上競技連盟の競技規則の変更に伴い、ハンマー投げ・円盤投げ用ゲージの一回り大きなものを導入します。

工事完了後は、日本陸上競技連盟の検定員により、施設や備品について審査され、条件が満たされれば認定が更新されます。

陸上を志す人に整った環境を提供し、陸上競技を盛り上げていくために第2種公認を目指します。

**図書館初！
祖父母世代を対象とした
「じいじばあばの孫育て講座」**

津山市立図書館では地域の子育て力向上を目的に、孫育て中、もうすぐ孫ができる方、地域で子育て支援を行っている方を対象として3回連続の「じいじ・ばあばの孫育て講座」を開催しました。

第1回目は2月16日（日）に岡山市の産婦人科医、

やまがたけひ
山縣威日氏にご講演いただきました。

「今どきの孫育て〜祖父母の役割と楽しみ方」と題して、祖父母世代が現役だったところと今の子育て方法の違い、孫育ての心がまえなどをお話いただきました。



やまがたけひ
山縣威日氏による「今どきの孫育て」のお話

「お風呂上りには白湯を飲ませる。」「泣いている子どもをすぐに抱くと抱き癖がつく。」「今はどちらも「×」が正解です。

忙しいパパ・ママ世代を助けて、時間と心に余裕がある祖父母世代が「孫の心のオアシス」になってあげて」とのメッセージに参加者は大きくうなずいていました。



**大好評につき春休みも開催！
本の貸出おたのしみ袋**

津山市立図書館では、子どもの積極的な読書活動の推進と図書館に親しみを持ってもらうことを目的に、昨年8月に初の試みとして「おたのしみ袋」の貸出を行いました。

これは、図書館司書が選んだ数冊の本を中身が見えないよう袋に入れ、中身のヒントから子どもたちが好きな袋を選ぶというものです。

兄弟で一袋ずつ選んだり、この袋を目当てに毎日来る子がいたり大好評でした。「大人向けにもおたのしみ袋を！」との声から、12月には大人向けおたのしみ袋を実施しました。



3回目となる今回は、3月21日（金）〜23日（日）、幼児から中学生向けの「おたのしみ袋」です。

普段自分で選ばない本を手にとることによって、興味が広がったり、知識が深まったり、新たな分野への関心が広がることを期待しています。
「おたのしみ袋」は図書館本館で貸出します。多くのみなさまのご利用をお待ちしております。



発行 津山市教育委員会
（編集 学校教育部教育総務課）
〒708-8501
津山市山北520番地
TEL 0868-32-2112（直通）
FAX 0868-32-2157
E-mail: kyouiku@city.tsuyama.okayama.jp

教育委員会関係課：
教育総務課 学校施設課 学校教育課 保健給食課
生涯学習課 図書館 文化課 スポーツ課 こども課